

評価項目	教員の自己評価集計結果		評価委員の評価	
1 幼稚園教育の基本方針と組織	達成度	留意事項	評価点	留意事項
<p>園の教育理念・基本方針を指導計画に反映している 自身の役割分担を理解し組織的な仕事に努めている 地域の文化・自然を理解し保育に取り入れている 安全・衛生についての知識を有し適切に対応できる</p>	B	<p>地域の自然等に触れる機会を登降園でのかかわりを意識する 老人会へ招待をしてもらったことで地域とのかかわりができた ヒヤリハット研修が有効であった 安全への意識が高まる けが防止のための環境整備 特に大型遊具の老朽化による ケガへの懸念が挙げられた</p>	A	<p>大型遊具の老朽化の改善が必要 大型積み木のささくれによってトゲがささる子がいた 体験活動に工夫が見られ子ども達は幅広い体験をしている コロナ禍であっても裸足やどろんこの活動ができていた 老人会への参加は続けて欲しい</p>
<p>2 保育内容の確認(全体) 幼稚園教育要領を理解し保育に生かすとともに保護者に 説明できる 子どもの発達状況を情報交換により理解し、必要に応じて 保護者に伝える 会議において積極的に意見を述べる</p>	C	<p>非常勤職員における教育要領の理解に不安がある→研修の必要性 保護者へ積極的に伝えたいという意識が高まる 会議における発言について十分ではないと感じている者が 年数が5年未満、非常勤の職員に見られる →ディスカッションの方法等を工夫する必要性</p>	B	<p>教育要領も大切だが、個々の子どものペースで行うことも 大切 保護者にとって、子育ての不安は大きいので、教師が 研修で知りえたこと、学んだことも情報発信してほしい クラスだよりは、わかりやすく充実しているのでこれからも 継続してほしい</p>
<p>3 保育内容・実務の確認(個々の保育者) 子どもへの言葉づかいかや対応は適切である 発達の状況を踏まえ計画をたてるとともに実践において は、子どもの興味関心に応じて柔軟に行う 異年齢でのかかわりに配慮し、環境構成をする その日の保育を振り返り改善に生かす 個人の記録を継続的に行う</p>	B	<p>自身の言葉使いについて改める必要を感じている職員が増えた 環境設定への意識が向上した 発達課題のある子についての情報共有がすすむ ITを利用したドキュメンテーションの活用の検討 ファシリテーションの研究がすすむ</p>	B	<p>先生たちは子どもとよくかかわり、笑顔が見られる 個々の子どもの特性をよく理解し、かかわってくる 送迎の際など、先生によって対応の仕方が異なり言葉 づかいが気になる先生もいた</p>
<p>4 研修と研究 研修で学んだことが保育に生かされている 発達障害についての知識や指導方法を自ら学んでいる いじめ・差別について理解している 発達や学びの連続性を理解し進級、進学について子ども も保護者に伝えることができる</p>	C	<p>研修報告の共有化にLINEワークスの活用を促す 小学校との連携 食に課題のある子どもが多いため、職員、保護者ともに研修が 必要 特に職員においては援助の方法についての迷いが見 いじめについて、年齢が低いため学童期以降に起こる「い じめ」とは性格が異なるが、保護者においては「入れてあげ ない」「あっち行って」等の言葉や行為を「いじめ」と感じる 場合があるので丁寧に伝えることが必要 「いじめ」等を含んだ心理的な発達についての学びが必要 非常勤職員において発達課題の研修の必要性がある</p>	B	<p>可能であれば保護者にもユーチューブで発信される研修 を案内してほしい いじめについては、子ども達の語彙数が少なかったり、言い 方を考える力がないために否定的な言葉を使うこともあると 思うが、状況は丁寧に伝えて欲しい。</p>
<p>5 保護者との関係 保護者と連絡ノート、面談、電話相談により連携を図っ ている。保護者とともに課題の達成に努める 家庭状況の変化の把握。場合によっては全職員に伝え 情報の共有を図る</p>	B	<p>教員のほとんどが保護者との連携ができていると感じている 特にお迎え時などを利用して、意識して声掛けをおこなってい 一方で、かかわりの少ない保護者もおり差をなくすことに苦慮し ている 担任と副担の情報交換が進み、面談の結果等共通理解をして いる</p>	A	<p>保護者との関係は良好だと感じている 常に気にして声を掛けてくれ、相談しやすい環境だと思う</p>

<p><b>6 安全点検</b> 園児の引き受け、引き渡しについて手順を理解し安全に行う 遊具や設備の取り扱いや安全性を理解している 不審者への対応を共通理解している</p>	<p>B</p>	<p>予告なしの避難訓練を実施 消防署への通報訓練を実施 消火器の使い方について知りたい・・・若手 不審者対応についての研修が必要 ※マニュアルの確認 バス運行のマニュアルを作り直し研修を実施</p>	<p>B 不審者対応についての訓練が必要 今年度の予告なしの引き渡し訓練は大変だったが訓練として有効であると思う 弾く私訓練時、玄関に人が群がってしまうことがある 駐車場の一方通行についての注意喚起を増やすべき</p>
<p><b>7 諸法規の遵守</b> <b>学校保健法・伝染病予防法</b> 感染症などが発生した場合には保護者に伝えるとともに消毒などを徹底し予防に努める アレルギー等個々の健康状況を共通理解している <b>消防法</b> 防災計画に基づいて、防災教育を実施する <b>虐待防止法</b> 虐待について理解し、家庭状況を把握する</p>	<p>B</p>	<p>新型コロナの感染予防のため対応をその都度見直す アレルギーや虐待等の個々の情報については園全体で共有をしている すこやかKIDSの理解を再度学びたい職員がいる 防災意識を遊びの中でも高めたい アレルギーなどの情報はLINEワークスで共有</p>	<p>A 各防災に関する事柄は園だけでなく保護者も取り込んでいくべき</p>

※評価について

達成度	100%	～90%	A
	90%未満	～80%	B
	80%未満	～60%	C
	60%未満	～	D